



ひなまつひろば 完成



雛松会130周年記念事業として前号でもご案内していました『ひなまつひろば』が、昨年10月末に完成し、11月15日の朝礼で岩崎校長先生から児童たちにお話があり、開園となりました。また11月20日には、雛松会幹事を中心に見学会も実施され、附小の新しいスポットとして上々のスタートを切りました。

▲4・5面に関連記事▼

雛松会130周年記念事業

雛松会 130周年記念総会

★平成15年までに卒業の方

日 時 平成23年4月3日(日)

PM4:30~7:00(PM4:00~受付)

場 所 ザ・リツ・カールトン大阪

2階ザ・グランド・ボールルーム

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL 06-6343-7000

阪神「梅田駅」西出口より徒歩5分・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」

北改札口より徒歩5分・JR「大阪駅」桜橋出口より徒歩7分・

JR東西線「北新地駅」西改札口より徒歩7分

総会・懇親会

内 容 ◎議事(挨拶ほか) ◎乾杯 ◎懇親 ◎アトラクション

会 費 平成5年以前卒の方 7,000円

平成6年~平成15年卒の方 5,000円

※お問い合わせやご出欠の返信は
雛松会ホームページ上でも受付
けてあります。(詳細は2面に)

5面に
詳 細

ジュニア会

★平成16年卒~平成23年卒の人

日 時 平成23年3月30日(水)

AM10:00~12:00

場 所 母校(附属天王寺小学校)

内 容

◎議事

◎アトラクション

◎年次毎の同窓会

恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。



第42号

雛松会
130周年
特集号

平成23年3月10日

雛松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0003
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

<主な記事>

◆ひなまつひろば完成・総会告知	1面
◆学校長・会長ご挨拶	2面
◆転出された先生方・附小NOW	3面
◆ひなまつひろば関連	4面
◆お元気ですか	6面
◆同窓生の活躍	7面
◆130周年記念総会案内	5面
◆年会費納入者一覧	8面

130年の歴史を刻み、次の世代へ

本年、錦松会は創立130周年を迎えることができました。これも偏に会員の皆様方のご協力と大阪教育大学付属天王寺小学校の歴代校長先生をはじめ、教職員の方々、先輩方のご指導・ご支援の賜ものと心から感謝いたします。

一口に130年といつても、そこにはその時代その時代に翻弄されながらも懸命に生きた人々の「歴史」の積み重ねがあります。また、今現在もこの「歴史」



は進行形で刻まれています。「歴史」の中で生きる私達は、いつも様々な出来事に遭遇します。生きているということは、常に何かしらの出来事に接している状態ということができますが、人は往々にして、その出来事に対しても色々と勝手に意味を被せて考えようとする傾向があるようになります。そんな中でよく議論されるのが「歴史」における「偶然」と「必然」の概念です。

例えは、コロンブスが大陸を発見したのは偶然かどうか？その当時、遠洋航行の出来た大型船が発達していた。羅針盤が中国から伝来していた。ポルトガルがアフリカ沿岸を探検していた。アラビア人の手で東洋のコシヨウなどの産物がヨーロッパに届いて高価に取引されていた等々の時代背景を考えると、早晚コロナブルスが代わりの人が新大陸に達する必然性があつたのでしよう。しかし、コロ

ノバスが資金の援助を求めていたスペインのイサベル女王が800年に及ぶイスラムの支配に終止符を打った時に、コロンブスが現れたという偶然の産物でもあります。歴史に「たら・れば」はありませんが、コロンブスが一ヶ月早くイサベル女王に会っていたら、援助を断られ、果たして航海が実現していたかどうか分からません。

関係の必然に沿つて進む
は、とする考え方も存在
します。私は「歴史」は「
必然」によって進んでいる
と考えたい。なぜなら、自
の意志では避けられない
変えることが出来ないこ
とを意味する「必然」が存
するに考へると、自分が
かが敷いたレールの上を
だ疑う事もせずに走らさ
ているだけの空しい存在
とは思いたくはないから
す。自分自身から発せら
た意志で物事を判断し

「雛松会」も1300年
の「歴史」を刻んだときま
た。これは先輩達から受け
継がれてきた自主的な尊
の精神だと思います。先
達が残した「歴史」があ
から「雛松会」の「今」
あるのだと思います。し
し、人は「今」が未来を
統いていくと錯覚しがち
ですが、必ずしも望まし
「未来」に繋がっている皆
どうかは誰も分かりませ
この会に携わっている皆

さ。かいで劫かがる筆志けしも
「雛松会」の「歴史」を
んでいき、次世代の後輩
に喜んで受け継いでもら
るような会であり続け
とを心から願つております

う。こえ達刻ら

総会・懇親会の案内や雑松会の歩み、役
協賛金の案内、そして会報のバックナンバー
是非「お気に入り」に入れて、時々雑松会
さい！

尚、今回の130周年総会・懇親会の出欠を
だけますのでご利用下さい。



130年の歴史と 伝統と今日

籬松会名譽会長
大阪教育大學
附属天王寺小学校校長

岩崎由紀夫

大阪教育大学附属大王寺小学校同窓会「雛松会」30周年おめでとうございます。

ます。その後、第2次世界大戦後の混乱や経済成長の中で忘れられたとなり、昭和42年（1967年）の創立90周年を機に再開の機運が高まり、昭和43年（1968年）3月に復活第1回総会が開かれたと記されています。長い歴史と伝統の上に、雑松会は130周年を迎える運びとなりました。本校長年の歴史と共に小学校の同窓会組織としては全国的にも類のない伝統ある会といえます。この創設1

30周年にあたり、記念事業の一環として、附属小職員室南側（うさぎ小屋、藤棚のあつた場所）に、子どもたちの安らぎと憩いの庭園「ひなまつひろば」を造園していただきました。フジ、コナラ、ユズ、カリ、ヒラドツツジ、クスノキ、シマトネリコ、ソメイヨシノ、キンモクセイ等の木々が植樹され、雛松門「130周年」のモニュメントも設置されました。平成22年11月20日にお披露目

会も開催され、翌週より子どもたちに開放されることになりました。四季の樂める庭園に子どもたちの方々が響き合い、混じり合っています。この同窓の「声のつながり」を今後も大切にしていきたいと思います。

さて、今日、国立大学法人大阪教育大学は、平成29年度より第2期中期目標中期計画期間に入りました。附属学校に関する目標として、以下の三点を掲げています。

3. 学校の運営に当つては
校長のリーダーシップの
と、自律的で効果的な学
運営と教育環境の充実を
進していく。

おいては、例年のように本各地より1000名をえる参会者を迎えることができました。附小の存在意義づける絶好の機会をりました。

また、3.につきましては、自律的で効率的な学校運営を行つたため、学校評議員からの意見・要望や学校評価を学校の改善に活かすとともに大学における附校園教育を支援するための組織の整備を図ることになりました。そのため、

小学校では、23年度を新学習指導要領全面実施年になります。学習指導要領は、教育活動の標準性と共に、国が定めた教育課程の要とそれに基づいて授業をめでいくための基準です。従って、学習指導要領記されている内容は確実に付けさせなければなりません。しかし、それでは十分とは言えません。子どもたちを取り巻く環境が複雑になり、住んでい

る境に明け。進成性はらに学年では、新たに「外活動」が始まります。に、公立学校では少人級の推進について、平年度より小学校1年生入学級にし、その後、を追つて学年進行で35級を推進していく計画つています。従前の40級をスタート以来30年の改正ということになります。こうした動きの中附属小学校の定員をどうするかという課題がございました。国会での標準法

語学 番組 35 23
定員数について、早急に討していく必要があります。これは附属小学校の望まないような多様な時代に主体的に対応していくためには、雛松会の援助、協力が大きな力になります。130年の歴史を更に一年一年積み重ねていきたいと考えています。雛松会の永久にむけます。今後ともご支援・ご協力どうぞよろしくお願ひ上げます。

附小 ホームページ

母校の最新情報満載

<https://tangka.oceanus.org/>

雛松会のホームページが出来ました！

<http://www.hinamatsu.com/>

総会・懇親会の案内や雑松会の歩み、役員と各期幹事、会費・協賛金の案内、そして会報のバックナンバーもご覧いただけます。是非「お気に入り」に入れて、時々雑松会のことを思い出して下さい！

尚、今回の130周年総会・懇親会の出欠もWEB上でご連絡いただけますのでご利用下さい。

感謝の気持ちに代えて
私事で恐縮ですが、昨年の秋に退職し、今は家族とともに過ごす毎日です。新しい生活の中で自分らしい生き方を模索するために、自分の行動と、それに要した時間を細かに記録することにしました。今日は、洗濯干しに8分、夕食作りに30分というように、
記録し続けると、今の私の時間の使い方が見えてきました。そして、



高橋智子 先生
(道德)

(平成17年4月～)
(平成22年3月)

大阪市立加島小学校へ転出後ご退職

私が分かると、明日の私が予測でき、理想とする明日の私のため、今日の私にできることが見えます。明日の私を憂慮して、今日を漠然と生きる必要がなくなるのです。

この先もしみなさんが何かしら将来に不安を感じたり焦りを感じた時には、ぜひこの話を思い出して下さい。確たる明日の自分を知りたければ、今日の自分を知るために記録を取るのです。その記録が、搖うぐあなたの心と足元を確かなものにしてくれると考えます。

最後になりましたが、保護者のみなさま、教職員のみなさま、そして卒業生のみなさま、在任中はお世話になりありがとうございました。附属天王寺小学校での充実した日々を思い返すたびに、温かく見守つてくださったみなさまへの感謝の気持ちがこみ上げてきます。みなさまの毎日が、幸せいっぱい満ちているように心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。

附小
Now

附天小雛松会担当 太田 雄久



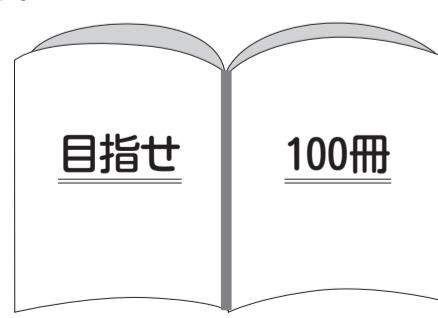
1年生から6年生までが協力して特別教室などを掃除しています。低学年の子は初めて行う特別教室の掃除にとまどうことも多いようです。そんな時は、高学年が低学年の子にやさしく掃除の仕方を教えてあげたり一緒に掃除をしたりしています。そんな光景を見るとな、とてもほほえましく感じます。



○たてわりそうじ○

今年度は学校全体で新たな取り組みが始まりました。それは「たてわりそ^{うじ}」です。
1年生から6

今年度は学校全体で新たな取り組みが始まりました。それは「たてわりそうじ」です。1年生から6室などを掃除初めて行う特



破冊100冊書讀

また、読書活動では100冊読破する毎に表彰されるようになりました。これはずいぶん昔に行われていたことだと聞きましたが、最近は行われなくなっていました。朝礼で、読書100冊読破を達成した子に校長先生から表彰状が渡されます。表彰状を手にした時の子どもの表情はとてもうれしそうです。またさらに、読書への意欲がわいていることでしょう。



○ 安全面のレベルUP ○

平成12年（1999年）より平成21年（2009年）までの10年間、附属天王寺小学校にお世話になりました。

私は音楽科の一員として赴任させていただきました。ありがたいことに音楽科は学芸会をはじめたくさん行事に関わらせていただきます。金管バンドの指導やPTAカラースにも携わらせていただき、本当に充実した日々をすごさせていただきました。学芸会を終えるごとに、子どもたちとともに私も成長させていただいてきたよう思います。その経験は今、私の財産となっています。金管バンドでは毎朝の練習を暑い日



西川理嘉 先生
〈音譜〉

（平成12年4月～
平成22年3月）

河内長野市立美加
の台小学校へ転出

も寒い日もがんばりました。子どもたちもつらい時があったと思いますが、私も実はつらかったです。でも、それを乗り越えてこそ今の仕上がりました時のうれしさやよろこびはひとしおです。そんな苦楽をたくさんの方ともども一緒にしたことも私の宝です。PTAコーラスの活動は、子どもたちはまたちがつた音楽をつづしていく過程が新鮮で、部員の皆様との触れ合いや一体感が心地よいものでした。PTAコーラスの活動で離松会にも総会のたびに発表させていただき機会をいただき、お世話をになりました。

十年ひと昔と言いますが、本当にその通りで、思い返せば附属天王寺小学校もこの十年間様々な改革がなされ、あたりまえのことですが、担任した当時は変わったところがたくさんあります。伝統といわれる多くの行事も、それぞれすばらしいところを残しながら、よりよいものへと変わってきています。そんな変化し進化し続ける附属天王寺小学校の一時期を、素晴らしい先生方や子どもたち、保護者の皆様、離松会の方々支援してくださる関係者の皆様方と過ごせたことは、私の誇りです。

今後の附属天王寺小学校の益々のご発展を心よりお祈りしています。

昨年11月、本校に子どもたちの新しい遊び場所が増えました。これまで飼育小屋があったところがきれいな芝生の広場に生まれ変わりました。その名も「ひなまつひろば」。雛松会の皆様の寄附により整備されました。晴れ

云の皆様の寄附により整備されました。晴れた日には、池で泳ぐメダカを観察したり芝生に寝ころんで過ごしたりする姿がたくさん見られ、子どもたちにとってもお気に入りの場所の1つになっています。12月には、休み時間に3年3組の子どもたちによるハンドベルの演奏会も開かれました。



平成22年度

年会費納入者氏名

(平成23年1月末現在・敬称略)

特別賛助会員

大西 孝子・山本 輝郎・片上 逸磨・辻本 節子・岸本 光正・安田 美津子・西川 雅夫・秋田 光哉・宇陀 優子・木下 吉信・西村 泰彦

賛助会員

前田 哲勇・柴田 稔・長谷川 貞子・中川 摂・久野 晴二郎・河島 彦明・吉村 計三・瀬戸 知代・和島 伸幸・柴谷 一慶

大正15年卒

佐藤 美紗子

昭和 5年卒

藤田 夕美

昭和 6年卒

和泉 國夫

昭和 7年卒

森口 信幸・大野 敏夫

昭和 8年卒

衣笠 純

昭和 9年卒

雜賀 幸夫・大木 通子

昭和10年卒

筑紫 敬五・川村 太郎・岸本 卿一郎・後藤 寛・瀧澤 尊教・佐々木 百合・田中 文

昭和11年卒

斧原 幸二・佐藤 恵・大西 英子

昭和12年卒

高折 忠太・山本 輝郎・小川 定子・堀田 朝子・今市 芳・鷺尾 和子・大道 喜久代

昭和13年卒

金川 博武・甲佐 史郎・坂本 成男・岩崎 悅子・佐用 淳子・倉智 園子

昭和14年卒

永田 文夫・橋本 賢二・前田 哲勇・前田 実・井上 皆子・仲西 美子

昭和15年卒

加藤 光二・吉松 昌子・鈴木 洋子

昭和16年卒

勝又 朝昭・庭山 昭・保呂 和彦・門戸 良太郎・伊藤 利子・奥川 章子・田中 紗智子・田中 和子・山崎 典子・永田 俊子・堀 翠子・武岡 三慶

昭和17年卒

渢木 修・金森 順次郎・黒田 節哉・柴田 稔・安岡 悅子・中西 妙子・伊藤 英子・伊海田 住子・松井 幸子・長谷川 貞子・西島 瑞枝・柴谷 一慶

昭和18年卒

久貴 忠彦・柴田 俊治・竹谷 武・田村 新十郎・長野 秀保・川俣 球子・永友 洋子・菊野 妙子・長尾 裕子・近藤 光・野村 道一

昭和19年卒

伊加利 勝磨・岩田 由雄・荻原 一郎・片上 逸磨・清原 繁・小林 吉彦・齋藤 尚・塘 二郎・本間 琢也・森口 五郎・大井 岳子・高久 美也子・藤田 美智子・中川 操・横山 清恵子・河井 迪男

昭和20年卒

池田 章也・辻元 一郎・本郷 二郎・三宅 克彦・萬年 明子・岩田 博一

昭和21年卒

久野 晴二郎・水野 稔・野崎 博子・西村 友子・小川 やす子・渡邊 昌子

昭和22年卒

濱本 敏孝・浦谷 佳邦・金森 和夫・駒 日出男・福岡 美彦・三木 忠・三宅 正彦・和爾 超城・山田 誠蔵・浅村 (今村) 喜代子・師岡 織枝・石原 さよ子

昭和23年卒

五影 雄三・萩原 忠恭・山添 尚子・小宮山 美美子・禪 幸子・圓井 好子・田村 依久子・打垣 内 恵子・荒井 三依・青木 慶子

昭和24年卒

松並 孝雄・瀧川 弥江子・志田原 真弓・河島 幸・伊丹 由美

◎平成22年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。

◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思います。お気付きの方は雛松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX 06-6771-6116)

◎平成23年度の会費は別記の様になっております。重ねてご協力をお願いします。

昭和48年卒
秋田 光哉・宮内 晃・浦川 正人・紺田 益寛・子・知子・宮本 知子・尾崎 晋一・原 敦昭和49年卒
森村 正嗣・宇陀 優子・巽 京子・木下 吉信・鈴木 宏育・浜田 順・山本 純子昭和50年卒
安達 京・木岡 哲郎・岡 貴史・橋村 伸二・平 田 修一・芳武 努・橋本 洋子・宮崎 悅子・瀬戸 知代昭和51年卒
浜田 康・藤田 浩史・宮川 裕子・春日井 孝 明・寺本 知正・平田 育子昭和52年卒
中嶋 幸子・秦 知世・井上 剛・太田 祥彦・谷 口 稔英・多屋 貞一・服部 浩次昭和53年卒
徳井 韶也・井上 佐代子・赤尾 滋樹・貫戸 淳也・堺 鶴・石川 孝子・寺崎 裕里・大江 晃弘・仲谷 宗裕・西村 泰彦・宮 浩久昭和54年卒
島野 泰三・巽 宣夫・小林 美佐・桜井 忠孝昭和55年卒
津村 一也・平田 武・藤井 茂彦・田中 玲子・和島 伸幸昭和56年卒
江口 文香・明石 佳世・井上 雅代・熊谷 有紀昭和58年卒
奥村 定之・重野 貴宣昭和59年卒
藤原 弘一・橋本 敦・真鍋 晃篠・中江 華子昭和60年卒
宮本 紀雪・井後 登史子・桑村 歩・中島 道隆・永山 聖子・岩崎 美和子・山根 芳江昭和61年卒
磯崎 文明・奥野 健太郎・谷崎 貴士・中桐 伴嗣・上田 康生・金子 謙・森川 宏樹・安田 幸嗣昭和62年卒
野口 牧紀・高嶋 晃資・東野 正明・岩崎 一 生・桑村 光昭和63年卒
玉田 一敬・水野 克彦・澤 裕嗣・堂本 隆志・松井 久恵平成元年卒
上田 順宏・坂田 尚英・曲田 紀子・岩崎 洋・安田 正治・良峰 正雄・松本 絵美平成 2年卒
岡田 善靖・三上 典子・森脇 美早・小野 誉子平成 3年卒
北田 博一・菊澤 明平成 4年卒
市原 孝浩・瀧藤 尊子平成 5年卒
太田 哲郎・錦織 有史・稻田 瑞穂・曲田 智美平成 6年卒
新堂 昌宏・石丸 淑惠・桑山 卓也平成 7年卒
井澤 良介・瀧藤 順聖・中嶋 平治・橋本 勝文・佐々木 (菅尾) 有紀子・真殿 知代子・神田 蘭香・佐藤 優子平成 8年卒
稻田 有華・安田 陽子・神田 琴智・門口 万由子平成 9年卒
橋本 佳奈・稻田 寛輝・神田 剛輝・赤木 健太郎・板根 貞嗣・南野 久美子平成10年卒
寺崎 知史・前田 健治・渡辺 綾子・浜田 優子・鈴木 曜子・鈴木 朋子・牛造 健・佐野 隆久・宮地 義子・小林 弘樹・加藤 朋子・門口 絵臣子平成22年卒
全員

雛松会会計平成21年度収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

会計幹事 赤尾 滋樹

・年会費・賛助会費	1,961,100	郵便払込 直接納入	677 口 平成21年度会費 8 口 "	1,929,100 円 32,000 円
・平成21年3月卒業生 新会員入会金・年会費 預金利息	590,000	会員金 定期預金利息 (口座番号 2058871) 普通預金利息 (口座番号 112670, 1135673)	3,000 円 × 118名 = 2,000 円 × 118名 = 1年定期	354,000 円 236,000 円 13,238 円 388 円
の 小 計	2,564,726			
部	前年度からの繰越金	9,208,184	定期預金(口座番号 2058871) 1年定期 普通預金(口座番号 1135673) 郵便口座	6,618,778 円 3,179,406 円 0 円 0 円 0 円
合 計	11,772,910	現金 前受金(21年3月卒業生入会金@3000×118名) 前受金(21年3月卒業生年会費@2000×118名)	-354,000 円 -236,000 円	
支 出 の 部	・総会費	444,106	総会費用	444,106 円
支 出 の 部	・会報印刷費	637,770	第40号会報印刷代	637,770 円
支 出 の 部	・郵送費	1,591,786	会報発送(2回分)、名簿発送、各案内発送費	1,591,786 円
支 出 の 部	・名簿管理料	115,500	帳簿済堂	115,500 円
支 出 の 部	・諸会費	403,161	ジュニア会補助・幹事会・総務会	403,161 円
支 出 の 部	・記念品	182,910	卒業生記念品	182,910 円
支 出 の 部	・事務用品	6,468	インク・ファイル代	6,468 円
支 出 の 部	・雑費	34,960	大阪教育大学開学60周年寄付・来賓手土産	34,960 円
支 出 の 部	・その他	40,524	同期会補助	40,524 円
合 計	3,457,185			
次年度への繰越金	8,315,725	定期預金(口座番号 2058871) 1年定期 普通預金(口座番号 1135673) 郵便口座	6,632,016 円 2,276,709 円 5,000 円	
		現金 前受金(22年3月卒業生入会金@3000×120名) 前受金(22年3月卒業生年会費@2000×120名)	2,000 円 -360,000 円 -240,000 円	
		合 計	8,315,725 円	

監査棟第一課

◎平成22年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。

◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思います。お気付きの方は雛松会事務局までFAX

にてご連絡ください。(FAX 06-6771-6116)

◎平成23年度の会費は別記の様になっております。重ねてご協力をお願いします。

平成11年卒
新堂 依子・竹林 由浩・伊丹 高顕・渡口 真理子平成12年卒
久保 裕希・松浦 文彦・橋本 祐・川崎 澄・南野 太志・島田 有理平成13年卒
新海 数馬・新堂 順久・石村 愛・黒田 実紗子・辻 諒子・右近 裕一朗・小亀 秀行・中山 克茂平成14年卒
堀越 寛生・松浦 弘幸・塚原 玲奈・青木 智寛・磯崎 祐希・藤井 恒太郎・柳生 圭士郎・白江 素子・中村 晶子・石村 圭介・奥村 哲也・藤本 晃一郎・吉井 健吾・渡口 るり平成15年卒
高倉 亮・金江 蓉乃・韓 新熙・中務 勝基・中村 健佑・赤澤 美帆・奥村 桃子・右近 亮介・門上 由佳・柴田 美帆平成16年卒
市村 彰祥・岩崎 孝規・久保 宏樹・菅野 健太・中村 大・松尾 成人・村上 喜彦・渡邊 真隆・川崎 翠・柴田 恵子・白江 信子・堀生 健二郎・岡本 寛貴・尾松 由祐・垣端 好実・梶田 莉好・櫻井 まどか・百田 麻美・芥子 和史・橋本 理生・松本 祐輝・塚原 麻理奈平成17年卒
大上 亮次・韓 昇熙・秦 将世・樺谷 美里・平野 全紀・浅岡 美樹・岩崎 由華・大内 麻央・大谷 実・大谷 真貴子・櫻井 球矢子・芝野 加奈子・中村 美仁・原谷 純・新海 郁馬・松井 元哉・池田 英美・畠中 亮香平成18年卒
岡村 翔・田川 積生・辻井 克弥・宮本 典明・池谷 千賀子・塚原 杏奈・中山 紗子・平田 充代・増田 咲生子・九鬼 ゆり・芳武 玲・清水 梨紗・野崎 由夏・羽藤 沙恵・細田 佳奈子・石村 悠二・門上 侑生・池田 奈美・岩井 香那・鴨井 駿優・樟木 美紀・後藤 有香・櫻井 孝子・葉室 顕子平成19年卒
井上 琦央・木岡 亮平・角田 武也・住吉 裕太・寺田 有郎・森田 剛史・牛島 阿衣紗・榎本 有莉・高 露・巽 明穂・岩崎 由華・中紗 紗矢香・服 部 ゆか・松尾 果林・今村 正秀・北川 裕也・坂本 直弥・福田 裕一朗・源 優樹・宮 智成・朝海 遥華・石川 子・伊當寺 美樹・奥村 晃子・平井 希依・宝谷 有紀・秋岡 正史・池田 雄一・堀 美智・金澤 秀晃・杉山 勝俊・中務 勝勝等・柳生 泰佑・石川 小百合・上田 純果・柿迫 利香・田中 友理・戸澤 麻絆・百田 裕加平成20年卒
赤澤 展人・上森 瑞生・川邊 直幸・北岸 友和・黒野 仁喜・小杉 悠貴・後藤 陽亮・田中 徳也・大友